広島商船高等専門学校	開講年度	令和03年度 (2021年度)	授業科目	校内練習船実習

科目基礎情報

科目番号	1952220	科目区分	専門 / 必修
授業形態	実験・実習	単位の種別と単位数	履修単位: 2
開設学科	商船学科（機関コース）	対象学年	5
開設期	通年	週時間数	2
教科書/教材	実習ノート(サリーポート）、指示された教科書及び辞書		
担当教員	大内 一弘,金川 静子		

到達目標

(1)航海当直，機関当直を通して船舶職員としての基本を身につける。
(2)自ら（グループ）船舶を安全に運航する。

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
評価項目1	航海当直，機関当直を通して船舶職員としての基本を身につけ指導できる。	航海当直，機関当直を通して船舶職員としての基本を身につける。	航海当直，機関当直を通して船舶職員としての基本を身につけられない。
評価項目2	グループの指導者となり船舶を安全に運航できる。	自ら（グループ）船舶を安全に運航できる。	自ら（グループ）船舶を安全に運航できない。
評価項目3			

学科の到達目標項目との関係

教育方法等

概要	校内練習船「広島丸」で泊を伴う実習を行い専門的知識・技術とその応用力の取得し，第一種養成施設としての必要履修科目を満たす。 ※この科目では、船舶での実務経験がある教員が、その経験を活かして実践的な船員教育を行う。
授業の進め方・方法	船内において、座学による講義と機関室内にて実技で授業を行う。
注意点	

授業の属性・履修上の区分

□ アクティブラーニング	□ ICT 利用	□ 遠隔授業対応	□ 実務経験のある教員による授業

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
前期	1stQ	1週	船舶用務	船内要務、航海実務、運航概要
		2週	当直実習	機関運転法、航海当直法、停泊当直法
		3週	運用実習	操船法、出入港法
		4週	航海実習	航海計器の取扱い、沿岸、天文、電波の各航法
		5週	機関管理	機器、装着性能検査、管理、点検、整備
		6週	保安応急法	保安応急法
		7週		
		8週		
	2ndQ	9週		
		10週		
		11週		
		12週		
		13週		
		14週		
		15週		
		16週		
後期	3rdQ	1週		
		2週		
		3週		
		4週		
		5週		
		6週		
		7週		
		8週		
	4thQ	9週		
		10週		
		11週		
		12週		
		13週		
		14週		
		15週		
		16週		

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	25	0	50	0	0	25	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	25	0	50	0	0	25	100
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0